

第5期武蔵野市情報公開委員会（第5回）会議要録

- 日 時 平成18年10月17日（火）午後6時30分～午後8時00分
- 場 所 武蔵野市消費生活センター講座室（商工会館3階）
- 出席者 委 員 6名、事務局 3名

1 報告事項

（1）平成18年度第2四半期の開示等状況について

事務局が当日配布資料①「平成18年度行政文書開示請求及び不服申立等の状況」を説明。

委 員： 建築計画概要書等の開示請求は何を目的としたものですか。

事務局： 地図会社が地図の更新をするために、全国の自治体に同じ開示請求をしており、ある自治体では訴訟にもなっています。

委 員： 住居表示台帳図には、家の形や名前が書いてありますよね。

事務局： 真上から見た家の形は書いてあり家の入口もわかるようになっています。ただ、名前は載せていません。

委 員： 多分、航空写真で地図をつくと莫大なお金がかかるので、自治体から取り寄せてそこに書き込んでいくことで、コストをかけないようにしようということではないかと思います。

事務局： もしそうだとすると、住居表示台帳図は、すべて開示していますので、それで足りると思います。

委員長： 実態的にはいろいろな方法で必要な情報を取得できていて、それ以上に何を求めているのかわからないということですね。

委 員： 中学校の成績に関する開示請求はどのような理由で請求されたのですか。

事務局： 成績一覧表には、教科ごとに5から1までを与えた数が記載されています。これを一中から六中まで取得することにより、学校ごとに各教科で5から1をどのくらいずつ与えたかがわかります。自分の子どもが通っている学校の評価が他校と比べて厳しすぎるので、他校と同じような分布にしてほしいとか、そのような評価をする教諭は問題ではないか等のバックデータとして使用したいようです。

委員長： 自分の子供の成績が悪いのを学校の評価制度のせいだと思う人も、中にはいる

かもしれないですから、こういう開示請求も出てくるのかと思います。

2 議題

(1) CIMコラムテーマの選定について

提案委員が当日配布資料②「CIMコラムテーマ案」を説明

事務局が事前配布資料①「CIMコラム掲載希望一覧」を説明

<市議会をもっと身近に～インターネット中継を拡大～>

委員： 導入経費のリース料はどういったものですか。

事務局： ビデオカメラ等の機器類は5年リースで、1,000万円ほどかかっています。

委員： 簡単に見ることができるのですか。

事務局： 武蔵野市議会のホームページからアクセスできます。

委員： 議員にとっては非常に緊張感があっているのではないのでしょうか。

委員長： そのような目的にはかなう制度かもしれませんが、アクセスが多ければ良いというものではないと思います。アクセス数がたくさんあることは何か問題を抱えている状態のあらわれでもあります。

委員： 人口13万人の市で3,000もアクセスされるのは、すごく多いのではないですか。

事務局： 市民だけでなく職員も見ているのではないかと推測されます。決算委員会は、みな関心を持っていますので。

委員： これは市報には載ったのですか。

事務局： 9月1日号と15日号の市報に掲載しました。

<「福祉サービス第三者評価事業」の評価内容について>

委員： 評価を行うことは義務付けられているのですか。

事務局： 義務ではありませんが、今後法制化していこうということになっています。ただ、評価そのものに市場原理が入っていて、評価を行う事業者によって料金が異なりますし、中小のサービス提供事業者が60万、40万といった費用を払えるのかという問題もあります。また、本市の市民社協は介護保険事業等のいわゆる営利事業をやっていないので中立性がありますが、サービス提供事業者であって

も東京都の認証を受けて評価を行う事業者となることは可能で、そうすると自ら評価を行うということも発生します。

委員： 私はISOみたいな、全く別個な組織が評価を行うのかと思っていました。

事務局： ISOも認証資格取得のために専門家を招いて指導を受ける等をするため、お金はかかります。

市民社協は昨年高齢者施設で24件の実績がありましたが、市内にある別の株式会社では55件の評価を行っています。

委員： 介護サービスを行う事業者が乱立していますね。

委員： すごいですね、ほんとうに市場ですね。

委員： 市場原理が入っているのがいいのか悪いのか、どうなのでしょう。

事務局： 東京都が決めたガイドラインがあり、共通評価項目に基づいてチェックをしていきますので、基準そのものは東京都で一律になっています。

委員： そうすると何のために評価制度を利用するのでしょうか。

委員長： 基本的には業者が自分の宣伝に使うのだと思います。営業活動をする際に、いい評価を受けている事業者ですから、安心してここでサービスを受けてくださいというように。ですから、そういう意味では多分60万払ってもやる価値があると思う事業者は評価を受けているのだと思います。

委員： お墨つきみたいなものですね。

委員長： 心配なのは金額を安く抑えその分甘いチェックでA評価とする等、評価の信憑性が危ないものが出てくるかもしれないことです。

<「武蔵野市専門委員」の実態について>

委員： 専門委員はどのような立場の方ですか。

事務局： それぞれ緑化であるとか、IT等の専門分野に詳しい方です。例えば、自治法務専門員は、元東京都職員で訴訟に関する事務に長く携わっていた方です。

委員： 全員が市役所OBとすると、市民からは第二の職場が用意されていて不公平だという声が出る可能性もあるかと思います。

事務局： 現在選任している委員で市役所OBは、図書・文化専門委員の一人だけです。また、そういう意見や誤解もあるため全体的な見直しに着手しているところです。

委員長： 今日たまたま大学院の学生から、自治体の専門委員への就任について相談を受けました。ほかの自治体ではそういう大学院生ぐらいの専門家にはまだ届かない常勤未満ぐらいで働ける人を選任している事例もあり、行政関係者だけ入れるという姿勢ではないと思います。

委員： ただ、やはり任期が長くなると癒着とかがあるように思います。ですから期間を例えば2年とか3年とか更新でも2期ぐらいに制限すると良いと思います。

事務局： 規則では1年以内と定めていますが、同時に再任もできることにしていて、再任の年数は特に定めていません。

委員： 情報公開委員会のように公募で選任した方はいないのですか。

事務局： 専門委員については公募ではお願いをしていません。

委員長： どちらかと言うと手がないのではないですか。専門委員になりたい人はそうそう世の中にいないと思います。

事務局： 任期が1年なため時代の変化や状況に応じて、改廃が激しく、昭和61年以降平成17年まで毎年、設置状況が変わっています。現在選任されている方で一番長い人は情報化施策に関するIT専門委員ぐらいで、あとの方はまだ1年から2年だと思います。

委員： 中央図書館をよく利用しますが、そのときわからないことを図書館にいる専門委員に尋ねると何でも教えてくれてすごく助かりました。ほかの分野にもそういう方がどんどん登用されたらいいと思います。

※ 提案のあったテーマはすべて取り上げることとし、掲載順は委員長と事務局に一任され、以下のとおり決まった。

掲載号	テーマ
18年12月15日号	動物愛護について
19年1月15日号	「福祉サービス第三者評価事業」の評価内容について
2月15日号	市議会をもっと身近に～インターネット中継を拡大～
3月15日号	「食育」について
4月15日号	新エネルギーの推進
5月15日号	「武蔵野市専門委員」の実態について
6月15日号	グリーンパートナー制度
7月15日号	事務事業・補助金見直し委員会

3 前回会議要録について

平成18年7月20日（木）に開催された「第4回情報公開委員会会議要録」については、

原案のとおり承認された。

4 次回日程について

第6回情報公開委員会は、平成19年1月23日（火）午後6時30分から消費生活センター講座室において開催することとなった。

【事前配布資料】

- ① CIMコラム掲載希望一覧
- ② CIMコラム掲載状況（第四期長期計画施策別）
- ③ 第4回情報公開委員会会議要録（案）
- ④ 市民と市長のタウンミーティング報告書（第4回～第6回）

【当日配布資料】

- ① 平成18年度行政文書開示請求及び不服申立等の状況
- ② CIMコラムテーマ案
- ③ CIMコラム執筆状況（掲載順）
- ④ 季刊むさしの 2006・秋号